

2016年8月9日
明治大学
日本郵便株式会社

若年層に復活の兆し！「手紙文化」を若い感性で盛り上げる！
手紙利用を促進するアイデアを企画する産学連携プロジェクトを開始

明治大学（東京都千代田区、学長 土屋 恵一郎）と日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 横山 邦男）は、手紙利用の促進を目的として、学生ならではの感性で新しい手紙のカタチを作る産学連携プロジェクトに取り組みます。

メールや SNS が発達した現代ですが、日本郵便株式会社が運営する文通サービス「青少年ペンフレンドクラブ」では、会員数が 2016 年 4 月以降、毎月 200 人以上増加しています（2016 年 8 月 1 日現在の会員数は 7,419 名）。

手書きの手紙はメールや SNS とは異なる印象を与え、気持ちを伝えられる有効なツールであることから、その価値が見直され始めています。その一方で、手紙を送ることは身近ではないと感じている方が多くいらっしゃるのも事実です。

今回のプロジェクトでは、多くの方々により手紙をご利用いただくために、学生がアイデアを持ち寄り、それらを基に手紙利用を促進するツール開発や差し出しやすいオケージョン（機会やきっかけなど）の創出を行います。企画されたアイデアは、年内発表を予定しています。

また、千代田区内の大学生がインターンシップを通じて千代田区の魅力を発信する活動など「観光を通じたまちづくりに寄与する人財の育成及び活用」に注力されている千代田区観光協会にも、日本文化を正しく継承する今回のプロジェクトに関する活動趣旨にご賛同・ご協力をいただいています。

この産・学・地域連携により、手紙の価値を見直すことで手紙利用の促進を目指します。



（今回のプロジェクトに参加する明治大学の学生の皆さん）

1 プロジェクト概要

(1) プロジェクト名

手紙の利用促進プロジェクト

(2) 活動期間（予定）

2016年7月～11月

(3) 活動メンバー

明治大学の法・商・政経・文・理工・農・情報コミュニケーション・経営・国際日本学部・総合数理学部などの学部から参加した学生21名（男7名、女14名）

(4) 運営主体

明治大学、日本郵便株式会社

(5) 協力

千代田区観光協会

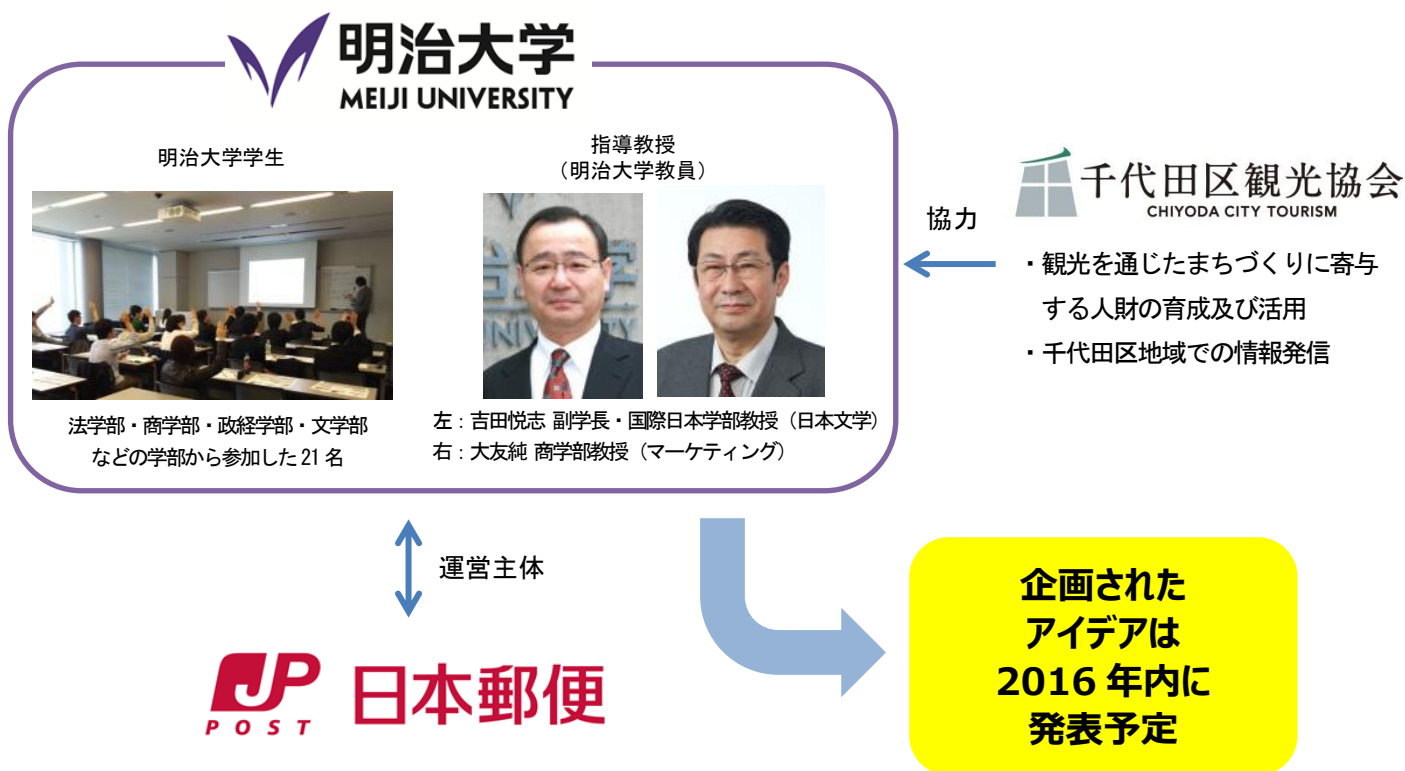
(6) 主な活動場所

明治大学駿河台キャンパス（〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台一丁目1番地）

(7) 活動内容

手紙利用の促進に向けた市場環境調査、分析及びアイデアの企画・提案

2 実施スキーム



3 スケジュール（予定）

- | | |
|------------|---|
| 2016年7月下旬～ | 市場環境分析、リサーチ、ツール・オケーションのアイデア出しなどの企画立案、プレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーション方法の考案等 ※適時実施済み |
| 2016年8月下旬 | アイデア出し及びディスカッションの場として、夏合宿を実施予定（明治大学学内にて実施） |
| 2016年9月上旬 | 最終報告会にてツールやオケーションのアイデアについてチームごとにプレゼンテーションを実施 |
| 2016年9月中旬～ | 商品開発等実現に向けた取組を実施 |
| 2016年11月下旬 | 商品の販売開始及び販売開始発表会の実施（明治大学内での実施を想定） |

4 本プロジェクトに関するコメント（明治大学 大友 純 商学部教授）

今回、古くからの文化である手紙の価値向上を担うことが出来て大変光栄です。

このプロジェクトには、様々な学部から意欲的な学生が多く参加していますが、普段の勉強だけではなく、実学を伴うことが出来る素晴らしい機会だと考えています。

SNS が進化したことにより、「スマホ脳」が危惧されています。一方通行のやり取りが中心となり、相手の感情が読めなくなっており、自分のメリットになるものしか受け入れられない脳になっていることが近年の研究から明らかとなっています。コミュニケーションが便利になった反面、思考までを効率化させた結果、コミュニケーションのロスによる、効率の低下に警鐘を鳴らしております。

その点、手紙は自分の感情を伝える手段として、効率を高める手段であるだけでなく、相手の反応を考えながら書くため、「スマホ脳」となる若年層に対するトレーニングになると捉えており、今回の試みは手紙文化の復権以上の価値をもたらすものと考えます。

お互いの多様な意見をぶつけ合い、良い化学変化が起きることを期待しています。

以 上

(参考)

■明治大学

- ・所在地：東京都千代田区神田駿河台一丁目1番地
- ・学 長：土屋恵一郎
- ・創 立：1881年
- ・学 部：法学部・商学部・政治経済学部・文学部・理工学部・農学部・経営学部・情報コミュニケーション学部・国際日本学部・総合数理学部
- ・大学HP：<http://www.meiji.ac.jp/>
- ・主な指導教授



吉田悦志 副学長・国際日本学部教授（日本文学）
明治大学政治経済学部教授を経て2008年より明治大学国際日本学部専任教授。著書に、『きみに語る—近代日本の作家と作品』『上司小剣論—人と作品』『事件「大逆」の思想と文学』『明治大学文人物語—屹立する「個」の系譜』などがある。近年は、尾佐竹猛、子母澤寛、菊池寛、岡本喜八、北野武などに言及しながら、新選組や座頭市物語も論じている。
明治大学 博士（文学研究科 日本文学専攻）
1980（単位取得満期退学）



大友純 商学部教授（マーケティング）
専門はマーケティング戦略論、広告論。食品・化学・自動車・機械メーカーや小売店等の大手企業で経営実務・マーケティング戦略の研修指導を数多く手がける他、中小企業経営、地域商業活性化に関する指導も続けている。
明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科兼任教授。
明治大学大学院商学研究科博士後期課程退学。

■一般社団法人千代田区観光協会

- ・所在地：東京都千代田区九段南一丁目6番18号 千代田会館1F
- ・会 長：森川清司郎
- ・事務局長：吉田康雄
- ・事業内容：千代田区及びその周辺地域の自然、景観、文化・歴史、産業・技術などの資源を活用し、観光事業の振興を図ることにより、千代田区の魅力を高め国内外の人々との交流を促進し、もって地域文化の維持発展及び地域経済の活性化に寄与すること並びに「観光を通じたまちづくりに寄与する人財の育成及び活用」を目的として、活動している。
- ・協会HP：<http://www.kanko-chiyoda.jp/>

■日本郵便株式会社

- ・所在地：東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
- ・代表者：代表取締役社長 横山邦男
- ・設 立：2007年10月1日
- ・事業内容：郵便業務、銀行窓口業務、保険窓口業務、印紙の売りさばき、地方公共団体からの受託業務、前記以外の銀行業、生命保険業及び損害保険業の代理業務、国内・国際物流業、ロジスティクス事業、不動産業、物販業など